



全町連だより

第33号

町内会加入率調査 (R8年1月末)

人口・・・21,985人 加入世帯数・・・3,677世帯
 世帯・・・11,569世帯 町内会加入率・・・31.78%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のホームページ(生活環境)にてカラー版を閲覧・ダウンロードできます(<http://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>)
 ●町内会についてのお問い合わせ
 中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-74-0891 (直通)



令和7年度根室管内町内会連絡協議会研修会に参加して



根室市で昨年の11月12日に開催されました研修会(町内会の維持活性化のために何が必要かに参加して参りました。

講師は旭川市立大学保健福祉学部コミュニケーション福祉学教授の大野先生でした。近年の地域社会における人口減少、少子高齢化、住民同士のつながりの希薄化など複合的な課題に直面している町内会の活動について研究を行い、今後の町内会の維持活性化について具体的なかつ実践的なヒントについてお話しされました。

具体的には、道内と全国の先進地と思われる町内会の活動の研究を通してこれからの町内会の在り方、活動についての5つの視点を通しての提言などがありました。

1. 住民が求めること・町内会だからできること。

住民のニーズを調査し結果に基づ

- く活動計画を立て、求めるものとしてできることを明確化する。
- 2. 負担軽減…省力化。それぞれの負担軽減を検討する。(活動の断捨離やデジタル化)
- 3. 地域の担い手を「発掘する」「育てる」。
- 活動を通じて「人材の発掘」「人材を育てる」
- 4. 「動きながら、組織をつくる」視点の大切さ。
- 祭りやイベントの実施を目的とし、活動を通じて、町内会という組織を構築する。
- 5. 町内会の本来の目的を再考し、先ず第一に取り組みむべき活動を優先する。



づくり、②情報伝達の刷新③担い手の育成と負担軽減④防災・福祉を軸とした共助の再定義組織⑤若年層・外国人へのアプローチなどの未来型モデルの提案がありました。

今後の町内会の活動として、参考にできるものもあり単に加入者を増やすことを目的とするのではなく、加入者でなくても活動に関わる人をつくるなどして若い人も参加できるような新しい動きをしていくことも必要であると思いました。

第2回 全町連女性部研修会



11月14日に、「防災研修(避難所運営ゲーム)」北海道版(DOはぐ)を実施しました。

避難者の年齢・性別・国籍や、それぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた地図にどれだけ適切に配置できるか、又、避難所でする様々な出来事について対応するかを、模擬体験するゲームで、23名が参加されました。

5〜8人程度で班を作り、次々に読み上げられるカード(避難者の対応を考へていきます)の中で、多くの事情を抱えた避難者たち…。

このゲームに「正解」はありません。避難所運営に携わる一住民として、いざという

時に最善策を見出す力や、不測の事態への対応力を自然に養うことができるゲームです。

当日は、中標津町役場防災担当の大塚基喜係長に講師をお願いしました。

最初にゲームの概要説明があり、次にグループ内での簡単な自己紹介をしてからゲームスタートとなりました。

今日の設定は、北海道版ということで、雪が降っていて気温はマイナス2度。明朝はマイナス12度まで下がる予想で、5センチの積雪があります。電気は停電。ガスも止まり水道も断水。携帯電話はつながりにくい状態で、下水道は使用不可、トイレも使えません。ゲームは30分位で終了しました。

ゲーム後の意見交換では、次の4点があげられました。①避難所の通路での土足は、土や砂ほりので、感染症のリスクが高くなるので、玄関で止めるのが安心。②床が冷たいので、上靴が必要。無い場合は、新聞紙でスリッパを作る事もできる。③避難者自身にもできることは必ずあるので「自分だから出来る事、気づける事」を行う動につづすこと、避難所での譲り合いも大事です。④お互いさまの気持ちを大切にすることで、避難所での時間が少しでも気持ちのよいものになるのでは。

最後に、ゲームの時間が短すぎ、もっと余裕をもってやれたかった。」との御意見をいただきましたので、次回へ繋ぎたいと思われました。



町内会割引制度協賛店を訪問いたしました。

お店の玄関を入りすぐ2階への階段をレトロな手すりを伝って上がっていくと店内に入る扉があります。開けるとそこには古民家のたたずまいがあり、大きなカウンターにはアンティークなステンドグラスのスタンドの採光が癒しを放っていました。小上がり席もゆっくりとくつろげる個室仕様になっています。和紙のランチョンマットの上には、今日の前菜としてママ手作りの旬の発酵食とオリブオイルを使ったおしゃれな2品が出てきました。飲み物をかたむけ注文の料理を待つ間に小腹に入れるにはちょうどいい味と量だったと思います。これを食べながら料理を待つための心遣いでした。

ママがいちばん心がけている事は、お客様には常に安心・安全な旬の食材を手間ひまかけて提供するということでした。

食材は地元の旬なもので、無農薬・無化調であるべく添加物の無いものを仕入れ、1年を通して必要な食材を全国から取り寄せ「やさしいオーガニック」のお店としてやらせていただいております。との事でした。

お店の一押しは「自家製塩麹地鶏の唐揚げ」です。地鶏は知床産・伊達産・青森産などを仕入れずべての肉・魚・野菜などに塩麹・オリブオイル・ハーブソルトを使って仕



古民家居酒屋
レトロな酒場
中標津町東1条北2丁目4
Tel. 090-8898-7266



【協賛内容】
地鶏の唐揚げ20%引き
自家製塩麹オリブオイルハーブ漬け
5人様以上のご予約のお役様はSORACHI1984を人数分1杯サービス



込みをしつかりしているところ。ご接待のお席には津別の黒毛和牛A5ランクのステーキ・すき焼きなどもおすすりメニューに書かれてました。

ママが1人で店を回しているのので一度に対応できるお客様は5から6人様で、それ以上の団体のお客様はお越しの際はご予約していただき、料理も数品のお任せでお願いしたいとの事でした。料金は要相談との事です。

お客様は仕事で遠方から来られた方や旅行者の方がSNSを見て来たり、そして長い間、地元の方々が来店されるそうです。

生ビールは当店しか置いてないサッポロの樽生ビールSORACHI1984でも美味しい生ビールでした。熱々の地鶏唐揚げとSORACHI1984は合う！
どうぞ、レトロの一押しと生ビールを食べに来てくださーいとのことでした。

お店一押し

- 自家製塩こうじ地鶏の唐あげ
- 真鱧と真たちのちり鍋●丸ごとカマンベールアヒージョ

しっかりめのお通し

- カキ入りなめこみぞれ和え
- ごま豆腐オリブオイルかけ

※全町内会連合会では会員割引制度の店舗紹介を広報誌でいたします。
ご希望の店舗様、企業様は全町連事務局までご連絡ください。0153-74-0891



令和7年度全町連事業活動状況

- | | |
|---|--|
| <p>4月 ●交通安全旗(町交通安全協会)・防犯旗(全町連)を希望する町内会へ配付 →39町内会で啓発
●役員会の開催 →7名出席</p> <p>5月 ●表彰式・定期総会の開催 →32名出席
●春の一斉清掃 →22町内会実施
●根室自然の番人宣言「ごみゼロの日」に係る清掃奉仕活動への参加 →15町内会33名が参加
●女性部役員会の開催 →5名出席</p> <p>6月 ●女性部定期総会の開催 →13名出席
●行政からの各種情報チラシ 回覧 →各隣組長・会長へ送付(6月~3月)
●根室管内町内会連絡協議会 定期総会・交流会(別海町) →全町連役員6名出席
●日本赤十字社活動資金への協力 →各町内会で協力</p> | <p>7月 ●広報委員会(7月~1月取材含め6回開催) →6名出席
●根室地区子ども会育成連絡協議会総会及び育成研究協議会(中標津町) →1名出席</p> <p>10月 ●秋の一斉清掃 →12町内会実施
●第1回女性部研修会の開催 →26名参加
テーマ「感染症の予防について」
●根室管内地域子ども会のつどい(中標津町) →16名参加
●赤い羽根共同募金運動・出発式への協力 →役員出席。募金は町内会ごとに協力
●道東ブロック町内会活動研究大会(帯広市)(講演・分科会・交流会) →4名参加</p> <p>11月 ●第2回女性部研修会の開催 →23名参加
テーマ「防災研究・避難所運営ゲーム北海道版(DOはぐ)」</p> <p>1月 ●中標津町新年交礼会 →全町連会長出席</p> |
|---|--|

※上記以外にも、町内会長や女性部役員は行政や関係機関からの依頼で各種委員になり、会議等出席しております。

◇町内会加入のことは、各町内会の役員または全町内会連合会事務局 TEL0153-74-0891(直通)まで!

**「安心・安全な住みよい街づくり」
町内会に
加入しましょう!**

あいさつ、みまもり、たすけあい

子どもの安全のみまもりを
こころがけていきましょう